

バイキンマンも正義のヒーロー

長久手市立長久手中学校

三年 関谷 和帆

「正義のヒーロー。」この言葉を聞いて皆さんは何を思い浮べますか。私が真っ先に思い浮かべたのはアンパンマンです。空腹の人がいれば自分の顔を食べさせてあげる。バイキンマンをアンパンチでやっつける。そんな強くて優しいアンパンマンは私にとって、まさに「正義のヒーロー」でした。

そして、正義のヒーローには必ず敵となる人物がいます。アンパンマンの世界というバイキンマンです。

私は、正義のヒーローに立ちはだかる敵は「悪」でしかないと思っていました。

しかし、「人にはそれぞれ正義がある」という言葉を聞き、私の考え方は変わりました。

私は、小学校や中学校を通して何度も道德の授業を受けてきました。その度にされる質問が、「あなたならどうしますか。」という質問です。その質問に対し、私は自分の考えに

自信を持ち答えていました。正解が無いといわれる道徳の授業の中で、「私の考えが正しい。」と思っっている自分がいました。その考えが言わばアンパンマン側の立場の考えであると思っっている自分もいました。

しかし、クラスメイトと意見を共有し合っていくと、私と真反対の考え方をしている人、大まかな考えは同じだけれど、その考えに至った理由が違う人などが何人もいたのです。

自分の考えに自信を持っていた分、クラスメイトの考え方に納得ができず、心の中で、「なんで？ どうして？」と思っっている自分がいました。自分が、正解、正義であると感じた考え方以外を、なかなか認めることができなかったのです。

そんなときに出会ったのが「人にはそれぞれ正義がある」という言葉です。

私はその言葉を聞いた瞬間、ふっと、自分の中の何かが落ちていくような、そんな不思議な感覚に陥りました。それと同時に、なぜ自分がクラスメイトの考え方を認めることができなかつたのか。その答えがわかりました。

それはきつと、「アンパンマンの反対はバイキンマン。」すなわち、「正義の反対は悪」であると思っていたからだと思います。

「人にはそれぞれ正義がある。」言われてみれば当たり前のことです。この世界は一つの正義を中心に回っているわけではありません。いくつもの正義がこの世界には存在しているはずです。アンパンマンにはアンパンマンの正義があるようにバイキンマンにはバイキンマンの正義があるはずです。アンパンマンの瞳にバイキンマンが悪として映っているならば、バイキンマンの瞳にはアンパンマンは悪として映っているのではないでしょうか。

だからこそ私は「正義の反対は悪」ではなく、「正義の反対はまた別の正義」であると考えます。

いくつもの正義があるからこそ、正義と正義が食い違うことは仕方が無いことだと思えます。その、正義と正義がぶつかり合うから争いが起こるのだと思います。アンパンマンとバイキンマンだって、きつと同じです。そして、私たちもきつと同じだと思っています。た

だ相手が自分とは違う考え方をしていたり、自分にとって都合の悪い存在だったりして、自分の正義を押しつけようとしてしまい、人間関係などで揉めてしまうのだと思います。

「正義の反対はまた別の正義」であるとは思いますが、この世界に「悪」が存在しないのかと言われるとそれは違うと思います。悪には歯止めが効きますが、正義には歯止めが効きません。そのため、「行き過ぎた正義」は「悪」になると思います。

人の数だけ正義が存在するこの世の中。自分の正義を押しつけるだけではうまくないと思います。自分の中の正義はもちろん大切です。しかし、自分の中に正義があるようにその人の中にも正義があるのです。その正義を認めることができれば自分の人生に彩りが加わると思います。きっと、誰しも誰かにとっての正義のヒーローになれるはずです。